

情 報 局 編 輯  
三 月 廿 五 日 第 二 百 三 十 號



蘭印早くも我に降り  
 ラングーン又わが手に陥つ  
 かくて、大東亞建設の礎石盤石の如く  
 彼等如何にあがかうとも  
 われら一億既に心決したり  
 ひたすらに絶対必勝の信念もて  
 西、ロンドンで入城式を  
 東、ニューヨーク沖で観艦式を  
 さうだ、その日まで  
 きつと戦ひ抜くぞ

サンボアングに  
 敵前上陸

ンピリイフ  
 島オナダンミ

比島方面帝國海軍部隊は三月二日ミンダナオ島西端の要衝サンボアングに敵前上陸を敢行、月明の下猛烈に火を吐く敵の十字砲火をくぐつて強引に敵に迫り、僅か三時間半あまりにして完全にサンボアングを占領南海の蒼空高く軍艦旗を飄へした

サンボアングはタヴァオに次ぐミンタナオ島第二の都會で、マニラ、タヴァオ間の交通の要衝に當る良港であり、軍事的にはアメリカの第十軍管區として首都マニラ陥落後敵は地の利を待んで長期抗戦を試みんとしたとしてゐた彼等の野望は、全く打ち砕かれてしまつた

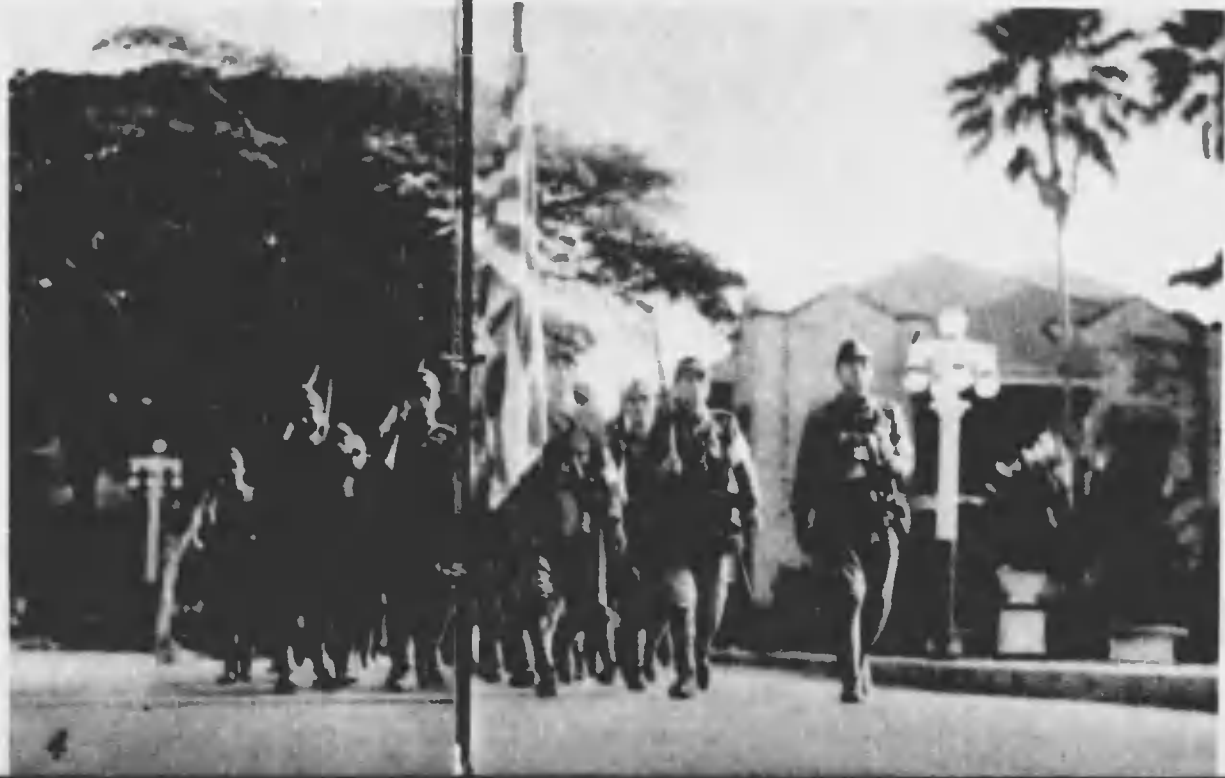




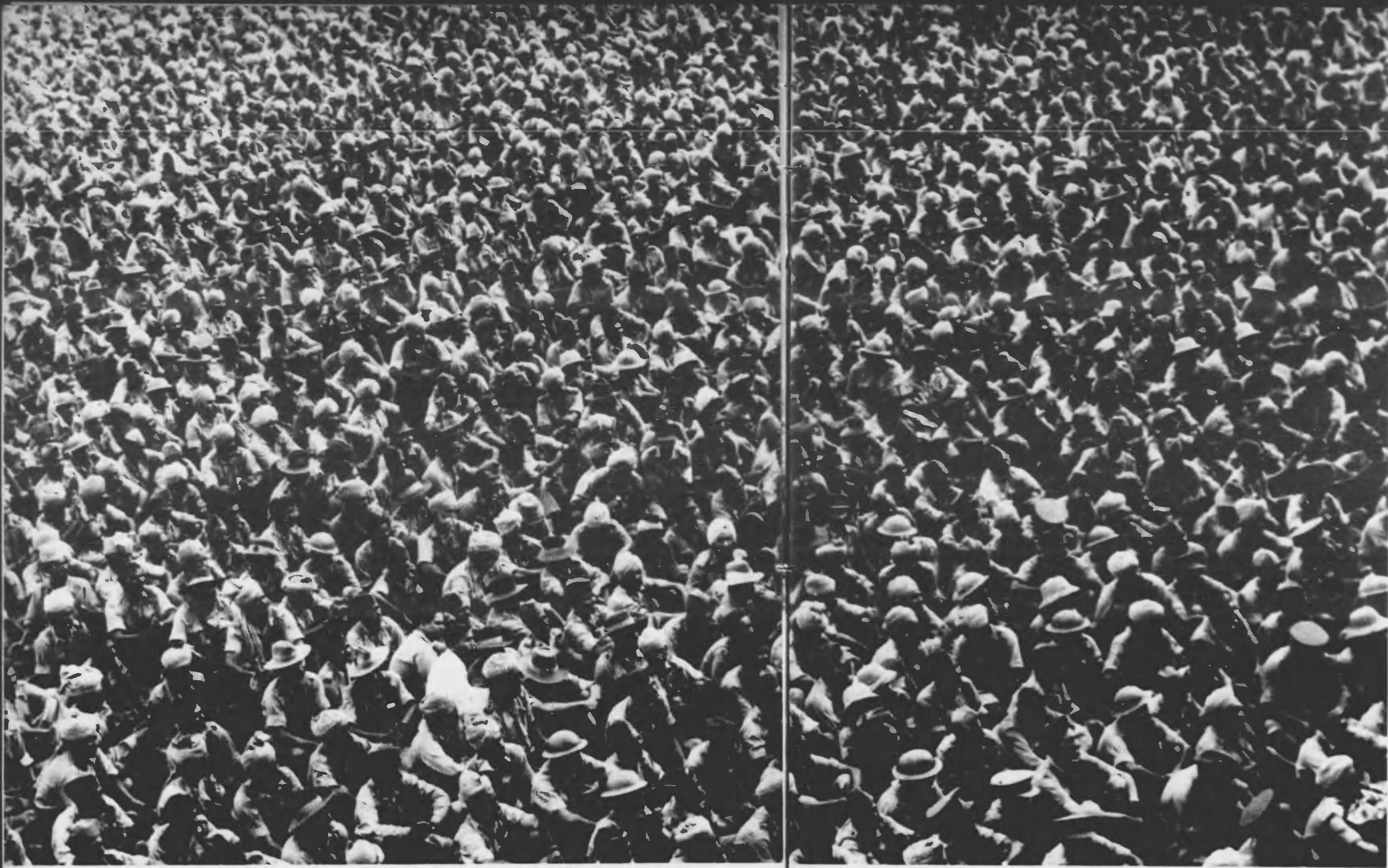


1 わが艦艇からは巨砲火を吐き、敵陣地に命中して  
暗黒の中に炎々と燃える  
2 敵前上陸地をめぐりて低づまる進軍、船べりをた  
たく波の音だけがいに高く響く  
3 炸裂する砲弾、轟々たる戦車のひびき、名にし負  
ふ皇軍の私撃に敵は度胸を抜かれ、各所に放火し  
て早くも逃散  
4 激闘三時半、敵は全くうちめされてとるもの  
もとりあへず退走、堂々のわが入城とは成つた  
5 監禁されてゐた邦人婦女子はいち早く救出され、  
夢にまで見た皇軍を涙で迎へた

陸上前敵にガンアボンヤ







# 女呼れ取寄る敵軍 敵俘虜二十五万

星影 陸軍報道班

こゝに掲げた上段の寫眞は、シンガポール政略戦に於ける俘虜の、それもごく一部分に過ぎない。開戦以來現在に至るまでのわが方の敵軍たる戦果の中には、二十一萬を越えるといふ俘虜の数が含まれてゐる。僅か四ヶ月足らずの間にこの何倍かの敵兵は、わが身に危険が及ぶと見榮も外聞もなく即座に武器を捨て、わが軍門に降つたの

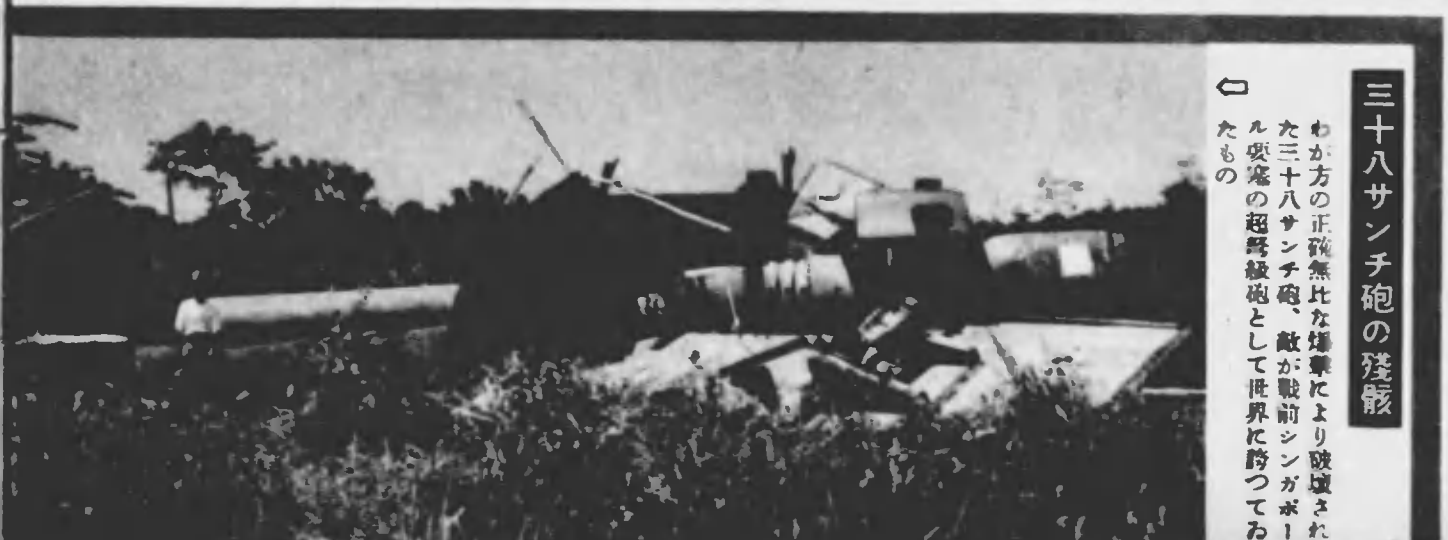
だ。その中には勿論、各級指揮官など重責を有する者も多数含まれてゐる。何といふ恥なき姿だらう。皇軍將兵は勿論、われ日本人には到底思ひも及ばないことだ。恥知らず奴！と唾を吐きかける前に、憐憫の情々へ湧いてくる。だが、顧みて未だにこの人間共を支配したと同じやうな物の見方、考へ方かれ／＼の心の隅のど

こかに残つておけしまいか。一死國に殉ずる皇軍將兵の尊厳な姿と、この醜い寫眞をよく見較べて、十分反省しなければならぬ。

インド兵は、かへつて喜んでゐるかも知れない。華洲兵は、早く故郷に歸つてうまい酒でも呑みたいと考へてゐるだらう。英兵の中には、或ひは屈辱を感じてゐるものがあるかも知れない。だが彼も命を祖國に換けることはできなかったのだ。

## 三十八サンチ砲の殘骸

わが方の正敵無比な爆撃により破壊された三十八サンチ砲。敵が戦前シンガポール要塞の超弩級砲として世界に誇つてゐたもの。



三十八サンチ砲の砲弾



# 大東亞戰爭の月々三戦果



## 大東亞戦争日誌

一三 月一

- 二日 ● 艦隊は南洋西方面に上陸し、米乙級巡洋艦マリア（ト）を撃沈 ● 海軍は二日、二日東部ジャバ島および同島以東の各島の各航空基地を徹底的に攻撃、残存機を合計二十六機を撃墜
- 四日 ● 夜半、海軍はハワイ諸島を奇襲、同港復讐工事に狂奔中の敵海軍工廠に数トンの命中爆弾を落し、重要箇所を爆撃
- 七日 ● 早朝、海軍艦隊はジャバ島南方クリスマス島を砲撃、軍事施設に大損害を與ふ ● 午後、ビルマ方面陸軍はペーグを完全占領 ● 開戦以来日本まで二列明せる海軍の総合戦果発表
- 八日 ● 未明、陸軍は緊密なる協同のもとにニューギニア島東部の要衝サラモアに上陸し、敵軍の上陸に成功、十日敵約六十機の反撃ありしも四機を撃墜しこれを撃退、本島に上陸する我が方歩兵、洗滌隊、徴用船一隻、輸送船一隻、揚陸艇一隻、小艇（小破）二隻（中破）、徴用船三隻（小破）（注）輸送船は上陸完了後に一機（小破）のほかに人員の損傷なし ● ジャバ島攻撃隊に行動中の海軍は三月一日より本日に再び同島周海上ならびにインド洋上に脱出または救援企圖中の敵船五十二隻約二万トンを撃沈
- 九日 ● 未明、海軍艦隊はバリ島ロンボク水道附近において、駆逐艦ヤンファンアムステルダムを撃沈
- 十一日 ● 蘭印方面陸軍のジャバ島攻撃隊において、戦果発表、(一)俘虜九万三千、戦車二千、(二)武器、飛行機百五十二機、戦車、装甲車を各三百六十七輛、火砲七百三十二門、戦艦一隻、航空機九万七千三百八十四機、運搬車四千五百個、爆薬十二万四千噸、各種物資二十三萬噸、手榴彈三万四千個、各種銃砲七千二百三十一万七千七百

## 戦果に應へる道

これからが生活の戦だ

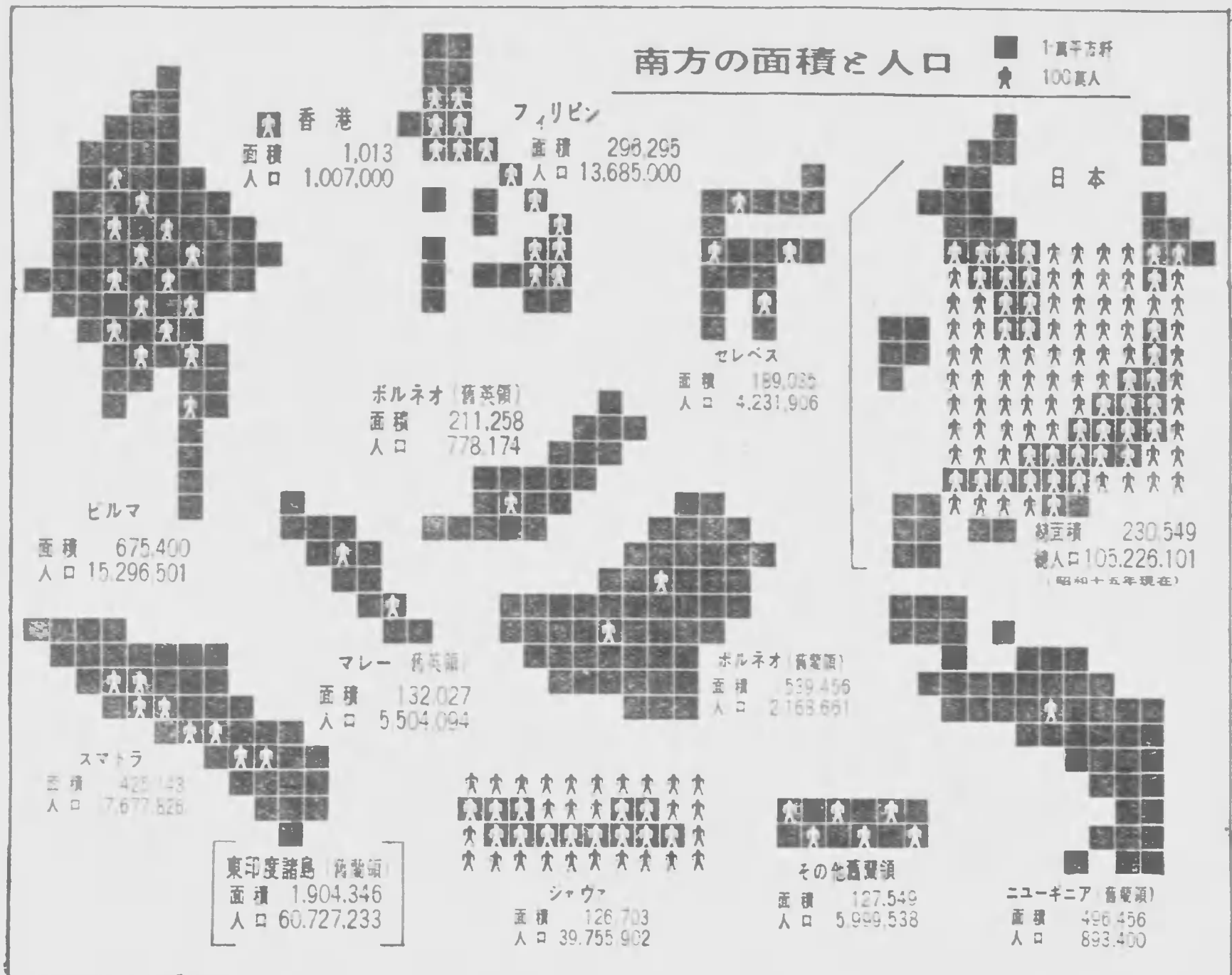
大東亞戦争勃発以來わづかに三ヶ月餘、太平洋と大東亞の連戦は全く一變しませんでした。香港、マニラ、マレー、シンガポール、蘭印、ラングーン、ニューギニアと敵の據拠は相次いでわが占領するところとなり、わが海軍は太平洋における敵の勢力に致命的の打撃を與へ、遠く米洲西海岸を脅かし、西はインド洋に作戦を擴大してゐます。蓋しまたハワイに不滅の戦果を擧げ、遠洲ポルトガルウィーンに艦隊を延ばし、「大東亞海」の制海、制空権を著々と確保してゐる行状であります。

南方作戦三ヶ月の戦果をみますと、わが占領地は制領下の地域は、實にわが日本の總面積の約五倍に達し、約一億の人口を擁するに至つてゐます。この間、陸海軍の戦果は、作戦だけでも二十一万人といふやうに、次頁以下の圖表にみるやうにすばらしいものがあります。かくも樹々たる戦果が、かくも短期間にあげられたことは、まことに御後援の下、皇軍將士の勇戦奮闘の結果であります。が、「神靈上ニアリ」と仰せられた神國日本の面目躍如として今こそ日本の光が南方に光射する機会を得たのであります。御民われ生けるしるしあり、私どもの何たる感激であり、何たる喜びでありませう。しかしこの大勝をもつて、戦ひの峠がみえたかのやうに安心して居ることは早計であります。成程、敵が戦前から誇稱してゐたA B C包圍網は、わが作戦によつて寸断され、壊滅されましたが、まだまだ敵の勢力は太平洋からも一掃されたわけではありません。今後遠洲あたりを根據地にして、潜水艦や飛行機で、海上及び空中よりわが領土に侵襲を必死につけてくるのであります。

わが占領地をねらふばかりでなく、遠く日本本土の空襲を企てて、敵の航空母艦が北上の途にあつたことはご承知の通りです。そればかりではありません。今や本國防衛に手一ぱいとなつてゐる英國はともかくとして、米國は尤大なる軍備擴充計畫を進めて、日本に侵襲する機会をねらつてゐるのであります。ルーズベルトのあの天文學的數字がそのまゝ實現出来ないにしても、何しろ物力、金力の國であるから、それに物をいはせて相當のことをやることだけは覺悟しておかねばなりません。

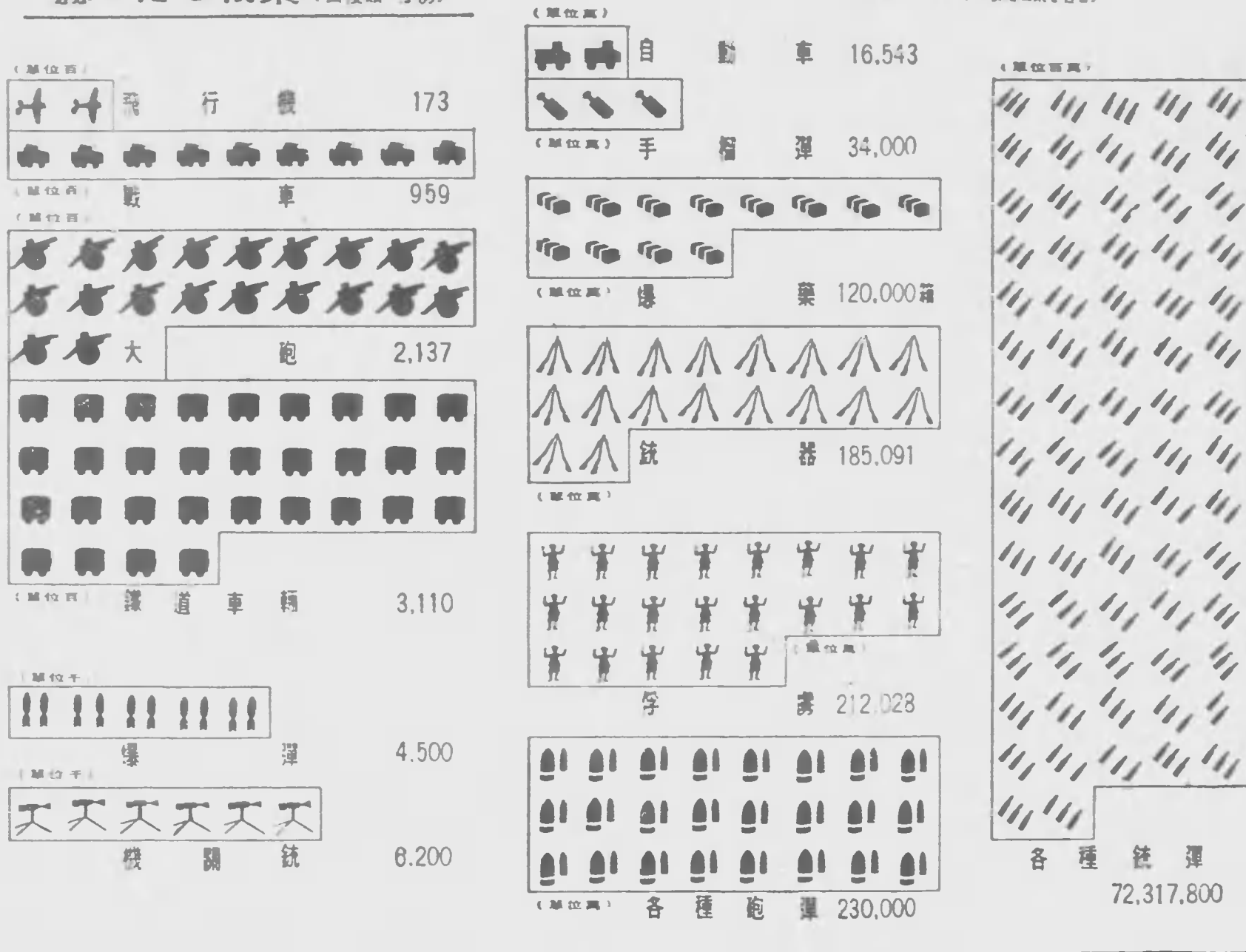
## 南方の面積と人口

■ 1萬平方軒  
▲ 100萬人

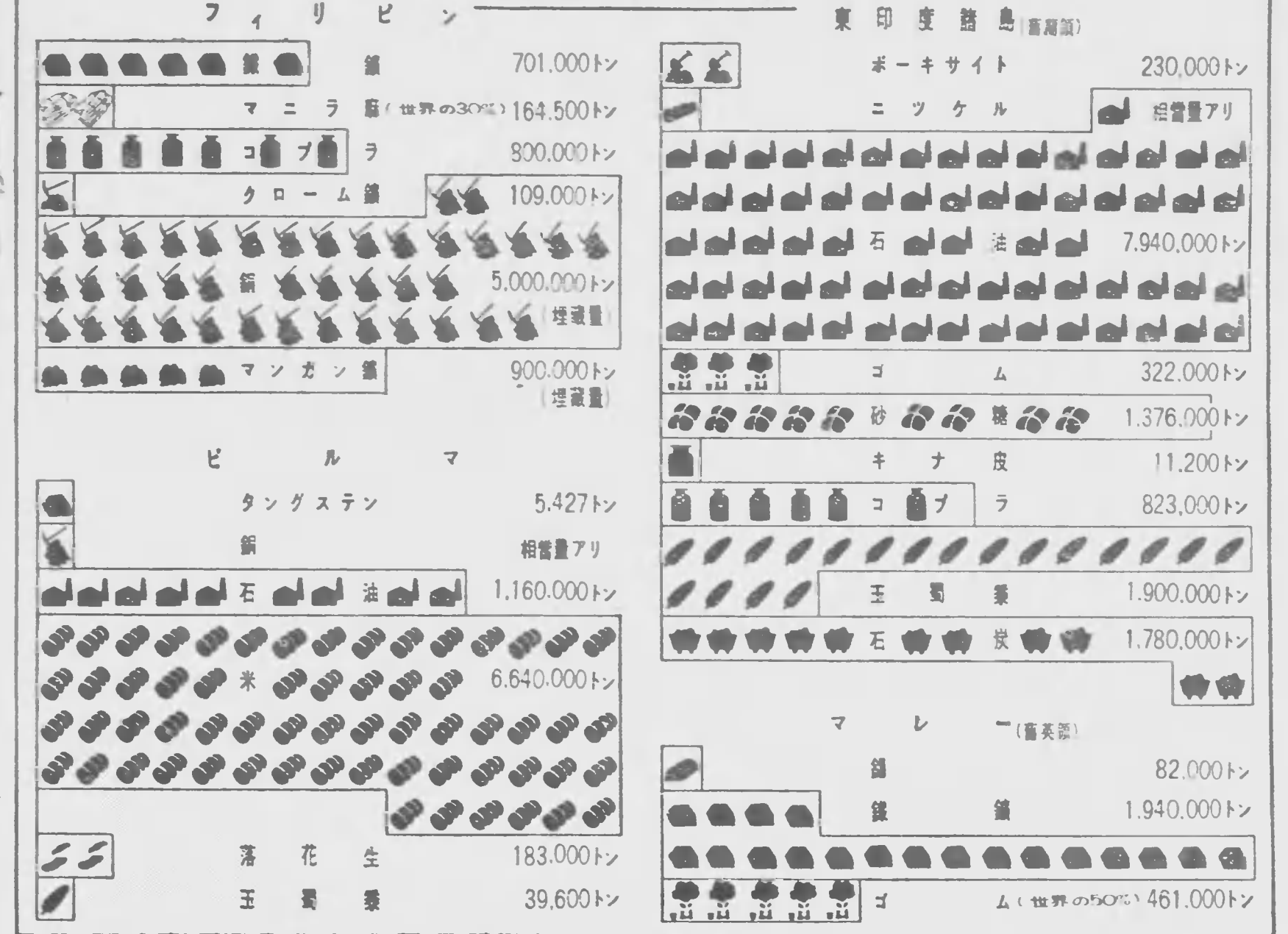


赫々たる戦果 (産品・俘虜)

(3月7日 ジャヴァ島戦果を含む)



南方の資源



南方開發は戦争第一

この世界の強大國米英を撃滅し、東亞の吾世界の新秩序を建設するまで戦へ抜く決意を固めた私も日本としては、有利に展開されたこの戦時運をいよいよ活用し、重要資源地帯をわが管轄下に収め、これによつてわが戦力を擴充しつゝ、さらに積極的作戦に出て米英を屈伏せしめると共に、敵をして再び反抗せしめないだけの用

南方作戦に成功したといへば、明日にでも實戦がやつて来て生活が楽になるかに考へてゐる人が多いのですが、これこそ戦争を忘れた恐るべき認識不足です。如何にも南方は資源地帯です。上の圖表で見ると、重要物資、しかもほかにないゴム、錫、キノアといふやうな物に恵まれてゐます。今まで敵米英に擧げられてゐたかういふ戦時物資が、私どものものとなつたことは、大いなる強みでありますが、それがそのまま生活にピンと響くといふものではありません。南方開發も戦争第一です。スラックだけで戦争できるものではありません。開發し、取得しつゝ、戦はねばならないのですから、南方でも石油とか銅とか、ボーキサイトとか、當面戦争のためになくてはならぬものから手をつけ、輸送するのは當然です

限りある船舶でこの大戦争をへば綿布、雜貨などを豊かでない日本のお台所の中から苦面しても分けてやらねばならぬことも起りませう。さうして、大きな大東亞

共榮國建設の希望に向つてお互ひに手を握り合つてゆくところに、新しい東亞は開けてゆくわけですから、

大東亞の建設 大東亞の自給自足經濟確立の途上には、日本及び東亞の經濟は大きな組みかへをせねばなりません。日本から考へれば、今まで困つてゐた重要物資を南方で得られることになつたのですから、これを加へて日本、滿洲、支那、佛印等を一丸とした物資動員計畫なり、生産擴充計畫なりを建て直さねばなりませんし、今までは米英のご都合主義で搾取の對象としか考へられてゐなかつた南方の經濟を彼等の支配から解放し、その力を發揮させることも必要です

それには、まづ日本の經濟が、知らず／＼の中に毒されて來た米英的の自由主義的、個人主義的の理念から脱却して、眞に戦争第一の戰時經濟になり切らねばなりません

ですから、日本が持つる國になつたから戦争の目標に到達したとか、持つる國になつたから今までの統制經濟や消費規定が緩和されるなど考へるのは、とんでもないことです。こんな妥協的な、安易な戦争観こそ唾棄せねばなりません。これからこそ、ほんたうの統制經濟になり、戦争經濟に

意が必要であります。武力戦からいつても、まだ第一期作戦に成功しただけで、序の口に過ぎないのです。敵の包圍を破つただけで、思ふ存分戦ふのは正にこれからです。それには、何をいへども、軍備の擴充、生産力の擴充など、戦力を急速に充實させることが必要であります

やりつゝ、物も運ばねばならないのですから、たとひ南方に砂糖の山があつても、これをどし／＼持つて來て、銃後のこともたちを喜ばすわけにはゆかないのです。現に、樺太や北海道に、石炭の山があつても、持つて來てどし／＼これを内地産業に供給する餘裕もない位なのですから……

だから、資源があるから、資源を手に入れたからといつて、すぐさま持つる國らしい生活が出来るわけではありません。今の日本にとつては、當面の生活の響ひを考へるより、國家百年の發展のために、生活の不自由をお互ひに忍んでも最後まで戦ひ得る大東亞國防國の確立と大東亞共榮國の自給經濟を建設せねばなりません

大東亞共榮國建設のためには、經濟的にもあちらからの持込みばかりではなく、こちらからの持出しも必要です。土着民族のために、彼等の必要とするものを、例

戦争經濟への編成替

大東亞の建設 大東亞の自給自足經濟確立の途上には、日本及び東亞の經濟は大きな組みかへをせねばなりません。日本から考へれば、今まで困つてゐた重要物資を南方で得られることになつたのですから、これを加へて日本、滿洲、支那、佛印等を一丸とした物資動員計畫なり、生産擴充計畫なりを建て直さねばなりませんし、今までは米英のご都合主義で搾取の對象としか考へられてゐなかつた南方の經濟を彼等の支配から解放し、その力を發揮させることも必要です

それには、まづ日本の經濟が、知らず／＼の中に毒されて來た米英的の自由主義的、個人主義的の理念から脱却して、眞に戦争第一の戰時經濟になり切らねばなりません

ですから、日本が持つる國になつたから戦争の目標に到達したとか、持つる國になつたから今までの統制經濟や消費規定が緩和されるなど考へるのは、とんでもないことです。こんな妥協的な、安易な戦争観こそ唾棄せねばなりません。これからこそ、ほんたうの統制經濟になり、戦争經濟に

共榮國建設の希望に向つてお互ひに手を握り合つてゆくところに、新しい東亞は開けてゆくわけですから、


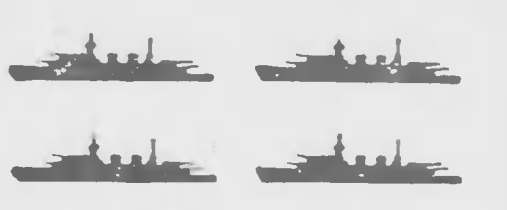






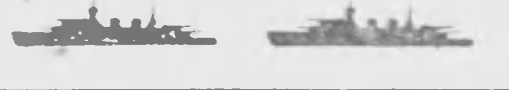



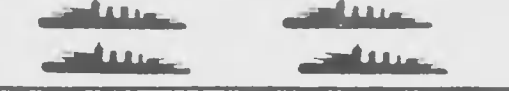




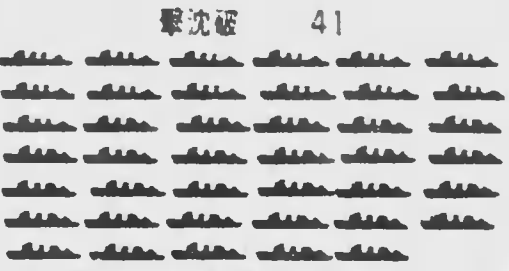

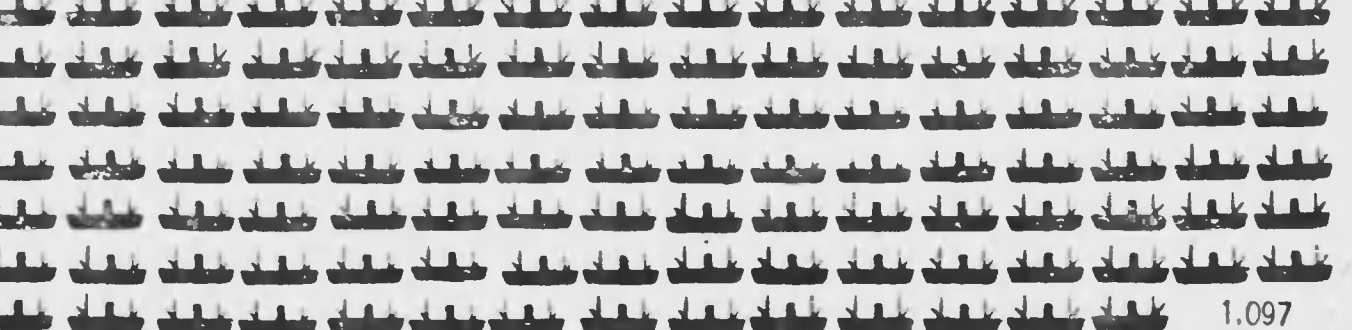
大東亞の建設 大東亞の自給自足經濟確立の途上には、日本及び東亞の經濟は大きな組みかへをせねばなりません。日本から考へれば、今まで困つてゐた重要物資を南方で得られることになつたのですから、これを加へて日本、滿洲、支那、佛印等を一丸とした物資動員計畫なり、生産擴充計畫なりを建て直さねばなりませんし、今までは米英のご都合主義で搾取の對象としか考へられてゐなかつた南方の經濟を彼等の支配から解放し、その力を發揮させることも必要です























それには、まづ日本の經濟が、知らず／＼の中に毒されて來た米英的の自由主義的、個人主義的の理念から脱却して、眞に戦争第一の戰時經濟になり切らねばなりません

ですから、日本が持つる國になつたから戦争の目標に到達したとか、持つる國になつたから今までの統制經濟や消費規定が緩和されるなど考へるのは、とんでもないことです。こんな妥協的な、安易な戦争観こそ唾棄せねばなりません。これからこそ、ほんたうの統制經濟になり、戦争經濟に

人の面からいつても、いよく勞務の重點配置が行はねばなりません。自分勝手な職業ではなくて、國家の必要とする仕事について眞の職域奉公の誠を效させねばならなくなつたのです



撃つたる戦果		撃沈	大中破	残存勢力
艦艇・船舶				
米	艦艇			13
	航空母艦			5
	巡洋艦			36
	駆逐艦			180
英	艦艇			13
	航空母艦			8
	巡洋艦			67
	駆逐艦			185
蘭	巡洋艦			
	駆逐艦			2
米	潜水艦			135
	その他艦艇	撃沈破 41 	拿捕 4 	
	船舶撃沈			1,097

撃つたる戦果		撃破 1,757	撃墜 941
飛行機		撃破不確実 100	撃墜不確実 147
		単位 10機	単位 10機
米			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
英			
			
			
			
			
			
			
			
			
			

大東亞戦争は外に米英撃滅の世  
界新秩序建設戦であると同様、内  
に於いても、今まで私どもの心の  
隅に入りこんでゐた米英的なもの  
の考へ方を清算して、日本の政治  
経済、文化、思想、生活等の全領  
域に亘つて眞に戦ふ日本を建設す  
る戦ひであり、これなくして大東  
亞戦争の完遂はあり得ないので  
す。

外にこの撃つたる戦果が挙げら  
れてゐるとき、内にあつても國內  
建設の撃つたる戦果があげられね  
ばなりません。ハワイ眞珠湾特別  
攻撃隊のあの純忠無比の姿に思ひ  
を致すとき、銃後にもつとつと  
この日本精神の眞髓が發揚されね  
ば申譯がないと思ひます

### 戦争生活に徹せよ

このやうに、あらゆる面で戦争  
態勢はいよゝゝ強化される趨勢に  
あります。しかしこれも、洋々た  
る大東亞共榮圏建設のためのしほ  
らくの辛棒であり、國民への最少  
の負擔に過ぎないのであります

最近「南方から物が入つて来る  
から企業の整理統合などやる必要  
はない」とか「南方への物資供給  
のためにむしろ積極的に中小企業  
を育てるべきだ」とかいふ議論も  
あり、足踏みされてゐる方もあり  
ますが、國家の大局からみま  
す、大東亞戦争を戦ひ抜き、大東  
亞共榮圏の盟主としての地位を確  
せん

立するといふ大目的のためには、  
日本の産業の再編成をするために  
は、いやむしろ急いで中小企業の  
統合をやらねばならなくなつてゐ  
るのです

といふのは、中小商工業者の整  
理統合は、單に商賣する物が少  
いから、材料が少いから、勞務動員  
の必要からといふだけでなく、日本  
の産業を合理的に組織替して、製  
造能率をあげると共に、物資供給  
を公正圓滑にしようといふ、さき  
にお話した戦争経済の根本問題の  
一つであることを知らねばなりま  
せん

戦ひは長期に亘ることは必至で  
す。敵は正前から武力を以て私ども  
を攻めて來られなければ、思想戦、  
神戰を以て私どもの戦ひ心をね  
らつて來るでせう。戦ひの最後の  
鍵は、最後まで戦ひ抜く國民の精  
神力であり、必勝の信念でありま  
す。戦ひは信念に對する信念の戦  
ひに歸するのであります。私ども  
は、外この忠勇なる將兵の勞苦に  
應へ、この戦果を生かすために、  
内に 大御心を體して、如何なる  
困難にも打ち勝ち、私ども一人一  
人がそれらの生活を通じて戦ひ  
抜いて行く決意を固めずにはあら  
れません

一四月一日發行週報特輯一  
「戦争生活讀本」参照





日本の子供達にとつては、兵隊さんはいつても優しい兵隊さんである。ボルネオの子供にとつても……

撮影 支那海軍報道班員

# 椰子も猿も日本晴れ

ホネルオ通信

東南部諸島が三百餘年にかつたオランダの支配と植民から解放されて、インドネシア人のインドネシアに歸ることが出来たのは、三月九日、奇しくも第三十七回陸軍記念日の前日であつた。三十七年前、奉天大會殿において皇軍が決定的大勝利を占めた瞬間、東亞諸民族の胸の中にはアジア人のアジアといふ大きな夢が生れた。

インドネシア人が「何時かは自分たちも」といふ秘かな願ひを持ち、その願ひを日本に對する情願の中でつとめて育つて来たことはいふまでもない。三十七年目、今その夢は實現された。

神兵来る！ 各戦線における原住民のこの喜びこそ、大東亞戦争の性格であり、聖戦の意義の端的な現れであらう！ 皇軍特兵をめぐる新生ボルネオの風景を拾つてみた。



森下に籠として守りにつく



治癒を望まされた、奇と感れ楽しむ將兵



平安歸る、喜びに海を隔り抜く住民

## 森の中の唄

陸軍報道班 中村地平

レマ通信

ゴム林の中の、あかしの道を、ある日は歩いてきた。すると、色のくろい肥つた一人のマレーの男が僕の方に近づいてきた。男は僕の前に立ちどまると、突然二つの腕を車輪のやうにまはしはじめた。それから頬をふくらませ、口をぶらして「シュッ、シュッ」と蒸気を吐く風をした。まるで一臺の機関車が目の前を走つてゐるのと同じやうである。

僕が呆氣にとられてみると、その男はポケットから小さな紙切れを取り出して僕につきつけて見せた。覗いて見ると紙切れには英文で書いてある

マレー人 アババカ 三十五才

クルアン購買員なることを隠す

アババカと呼ばれるその男は、それからひどく早口の英語でなにごとかを話しかけてきた。察するにクルアン購買員で一度働いた。何分よろしく頼む」といふ意味であるらしい。僕は拙い英語で「僕がその資格をもつてゐないことを僕は遺憾の至に思ふ」と答へた。するとその男は「ああ、あなたは將校ではなかつたのか」と、いかに心外なやうな、あはれむやうな眼ざしを凝してそこを立ち去つて行つた。

二、三日たつた夕方、ゴム林の中の同じ道で、僕はまたアババカに會つた。アババカは上機嫌であつた。アババカは相變らずの早口の英語で僕に話しかけてきた。「二、三日前からクルアン購買員で日本軍のお世話になつてゐる。日本の兵隊は大變親切である。それから自分の家はすぐ近くだから、ちよつと立ち寄つてくれ」といひだした。有無をいふひまもなく、僕は彼の太い逞しい腕で彼の家に引つぱられたのである。アババカは言つた

「イギリス人は日本軍がマレーに入つてくるには三年はかゝるとわれわれにいつてゐた。それがこんなに早くこゝへ来るとは驚いたものだ」

それから彼は藤椅子の上でウクレレをかきながらパントンと唄つてくれた。パントンといふのは土地の民謡のことであるが、アババカが唄つた歌を意譯すると次のやうになる。

わしが胸んなかを さあさ 聞きやんせ 日本の兵隊さん  
 パナがどんなに延びよと 慥はそれよりなほはる  
 峰がどんなに高くても わしが思ひはもつと高い  
 簡素なメロディが終つたとき、僕はいつた。「君の歌も結構であるが、もつと勇壯な、たとへば日本の軍歌を唄つたパントンを聞かせて貰ふわけにはゆくまいか」とアババカは答へた。「私は詩人でないから、パント

ンを作ることはできない。けれど私の叔父のアババカが作つたパントンにたへられるに違ひない。あした来て貰ひたい」

翌日、僕は再びアババカの家に行つた。そしてアババカが作つたパントンといふのを貰つてきた。その一、二節を次に紹介する(原の原は原山忠氏に因りて譯したものである)

日本軍隊を讃ふ  
 ヨツアババカ  
 日本が勝利を得たのは  
 神の御心にかつたからだ  
 サイゴン國から タイ國  
 おつきの番が ケダの國  
 日本兵は風のやうに進む

ジャンブルの大砲など  
 物の數でない  
 スマラン、ゲマスでは休みませず  
 日本兵はシンゴポールで  
 深く息をついた  
 飛びくる敵の小銃彈を  
 日本兵は指の中に入れて貰ふ  
 神か、鬼か、日本兵は!!

## 航空萬年筆

陸軍報道班 秋永芳郎

機銃のF中尉は、いつものやうに日記帳をひらげ、萬年筆をとりだした。おびしい機銃の打撃に、愛用のその萬年筆をじつとみつめると、キャップのところにインキがにじみ出ている。

『あ、けふも〇千メートル以上の高空を駆け廻つて歸つてきたのだなあ』彼の胸にはインキのやうに感懐がしみついてくる。

高空の空気の壓力の變化は萬年筆のインキにも作用し、キチンとキャップをしめてゐてもインキが流るのだつた。そのやうな變化はたゞ物理的な變化としてF中尉に訴へはしない。インキの中に彼の今日の生活があるからだ。機銃をもちつて急降下攻撃をする。高射砲陣の標的は、眼の前に何十本と線香をたてたやうに飛び上つてくる。ばつと炸裂したそのあとへ、まだ硝煙が花のやうに咲いてゐるその中へ、愛機はついつつこんでゆくのだ。フグと胃にこたへてくるシロクハの酸のにおひが鼻を刺してゆく。彼はレバーを押す。さうしてやつと死線を越えてゆく。

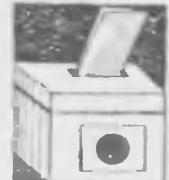
基地に歸り、旋回しながら中隊のピストがひしやけたキャマルのやうに映つてくる。彼はほつとする。日本人であることが有難くなつてくる。自分たちの先輩が、先人たちが、死地にいさぎよく飛び込んでも、敢然たるこびを感じ得る精神を、傳統としてのこしてくれたからだ。

レマ通信  
 F中尉は今夜もまた、故國の美しき山河を網膜に浮かべながら、インキのしみついた萬年筆で、マレー原野の空を記帳をつとめてゐるであらう



# 國月の常会

## 立派な人に出て頂ませう 眞實選挙の貫徹へ



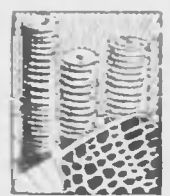
て、立派な人に出てもらふやうに相談したり、さういふ人を選び出すやうに申合せや誓ひなどをしていただきたいのです。ある人を常選させ、またある人の常選を助けるやうな内容に互らぬやうに注意をする必要があります。



## お国の實を強く正しく 少年保護の強化へ

四月十七日は少年保護記念日です。今年も少年法が公布されてから丁度二十周年に當りますので、四月八日から十七日までを少年保護運動旬間として全国に運動が展開されることになりました。少年は國の實であり、國力の基でありますから、皇國の大きな發展に備へるためにはこれをどこまでも強く正しく育て上げなければなりません。ところが戦時下にあつては残念ながら少年の犯罪が増加する傾向を辿つてゐます。その原因の一つは成人労働者の不足から少年労働者が増加し、これらの少年たちが急に収入がふえたこと、かつ飲食店に入出入りしたり、遊興に耽ることなどがあげられ、また父兄が戦線に立つた後の家庭で何かと手不足のため少年の保護や監督が行届かぬといふことも大きな原因とされてゐます。しかし何といつても、少年を犯罪へかたつたる曲者は暇と金とであるやうです。賃金をもらふ暇ができた、先づ食ふ、次に飲む、そして遊ぶ、この新しい輕便に少年は忍び難くとなつてしまふのです。そしてその結果が金につまる、金をつくるために物を盗んで警察の厄介になる、そして忘れられない遊びの生活だけが残る。大概の場合、悪の道はきまつてゐます。したがつて少年の不良化を防ぐためには健全な娯樂を興へて暇を善用させること、金銭の使ひ方に対する訓練をしてやるのが最も必要です。しかし一方、罪を犯した少年に對してはこれを大切に保護育成して一日も早く陛下の赤子としての本心にあちかへらせなくてはなりません。お互ひに子をもつ父兄は日常よく

す。即ち、個人としてある人の常選を希ひ、その人のために選挙演説をしたり、推薦状を出したり、その他選挙運動に助勢することは、選挙運動として、選挙法にいろいろ規定がありますから、警察署に設けられた「選挙相談所」又は内務省より出した「選挙運動心得」を警察より貰ひ受け、違反に陥らないやうに注意していただきたいませう。



## 戦果に劣らぬ決心で 二百三十億貯蓄の達成へ

昭和十七年度の國民貯蓄目標額は二百三十億圓と決定しました。これは昨年度の當初目標額百三十五億圓より、後に百七十億圓に増加しましたが、約百億圓即ち七割の増進であつてこれを達成することは實に容易なことではありせん。しかしこの目標額は大東亞戦争の完遂と大東亞共榮團の建設のためにどうしても必要なので、私たちはこれまでもできるだけの貯蓄を實行してきました。そして誰もがぎり／＼まで貯蓄してゐると考へてゐるにちがひありません。しかしお互ひが最低の戦時生活を實踐したら、またさらに勤勞を強化して収入の増加をはかつたら、まだ貯蓄の餘地はあつてはいます。こゝが我慢のしどころではないでせうか。いまわが國がこんなにも大きな戦ひをつとけてゐるのだといふことを考へたら、そしてまたこんなにも大きな戦ひをつとけてゐるにもかゝらず私たちが心豊かに生活してゐることを考へたらここのくらの我慢は何でもないといふなければならぬでせう。もはや今日では貯蓄といふことは自分一個の經濟生活をうち立てるといふやうな私の問題ではありせん。この大戦争に勝ちぬくため國防力を整備してこれを無限に擴充してゆく、その軍備の物的方面をうけもつものは即ち經濟の力であり、それはひとへに私たちの貯蓄にかゝつてゐるので、いま私たちは皇軍の輝く戦果に何をもちて應へたらよいかといふ感謝の氣持で一杯な筈です。皇軍の戦果が大なるほど私たちがはたして貯蓄の増加をはかりわが國の力を増強してこそ、はじめて戦後國民としての義務が果され皇軍に對して國民としての感謝、國民としての協力が全しといへるであらうませう。それには、私どもは更に勤勞を強化し、収入の増加をはかり、貯蓄の増加に資する一方、時局の要請する簡素な戦時生活を實踐することが絶対に必要です。私どもの消費生活には、戦時的でないものが、まだ残つてゐます。この際ぜひとも非戦時色をきれいさつぱり拂拭するやうにせねばなりません。

## 滿洲國から

### 謝恩特派大使 來訪す

三月十六日

滿洲國皇帝陛下には、新京を出發、十六日午滿洲國建國十周年の佳き年に當り、わが皇室を始め奉り、億萬の國民の代表の中を晴れの人選をされた。なほ特派大使一行は同日より八日間にわたり瀋陽、引續き關西方面展覧の豫定大使一行は三月十一日

東京驛頭で東條内閣總理大臣の出迎へをうける張特派大使  
着京早々天機ならびに御機嫌奉伺の記載のため裕金帝國ホテルを出る張特派大使





# 回収鉄屑らか底の海

静岡縣清水港



採算はとれなくとも、鐵板、イカリ、ワイヤー、チェーン、タイヤ、石炭、木材すべて陽の目を見れば立派な國の寶だ  
しつかりやつてくれと水上署員の激勵

撮影 加藤 恭平

せておいては勿體ないと、仕事の合間を利用しては回収に當つてゐる

今日、われわれはどうかすると、マレーも南洋も手中に収めたからもう資源は大丈夫だ、といったやうな一種の安心感に囚はれやすい。しかしこれはとんでもない危険である。成程石油、ゴム、錫等の資源は大いに活用し得る地位になつたが、鐵鋼等の重要金屬や動力資源としての石炭は南方に期待することは無理である。さてこそ今後消費規正はもちろぬ、國內に眠る金屬資源回収に努力せねばならないわけである

鐵、鋼の特別回収は昨春秋以來、全國的に行はれたが、一般家庭からの供出は、愛國の赤誠を反映して相當の好成績を挙げたに反し、工場や倉庫、銀行、劇場、映画館、旅館、料理屋等十九種の所謂特別施設にあつては、残念ながら成績は決して芳しくなかつた

パタアン半島の懸崖に陣を布いて日夜超人的な攻撃を續けてゐる兵達だが、食後講話や空襲や空襲を獲物籠に入れてはまた進撃してゐるといふ報告が前線から傳へられたが、彈丸雨の中、明日をも知れぬ身ながら長期戦を覚悟して死んでも何祖國を勝たせようとの一念には、胸を衝かれる思ひがする

前線兵隊のこの氣持を思ふにつけ、或ひは零細な海底の資源でもこれを拾ひ上げて活かさうとする心がけを見るにつけ、どうかこの際、一般家庭はもちろぬ、特に特別施設の鐵鋼回収には率先して協力願ひたいものである

今日の重い運物はこの邊だ、と強切る回収船に秀麗富士がほゞ見えかける

春とはいひながら水はまだ冷たい、しびれる手足に力を入れて海底を洗ふ



あるわ、あるわ、漆黒のきれいな石炭は、すぐにも貴重な燃料として使へる







◎ 轡を背負って、手綱をとって「漕ぎ」かき、美しい。新しい美が創造されなければならない

# 把った手綱に國を護る心意氣

宮崎縣住吉村  
女子畜耕班

大東亞戦争の勃發と共に銃後女性の生活態度は一段と飛躍を上げた。未曾有の戦果に應へ「わたしたちも出来るだけお國のお役に立ちたい」といふけな決意が女性の生活の中に浸透し、國內戦線に至るところに男まさりの戦果を収めつゝあるの

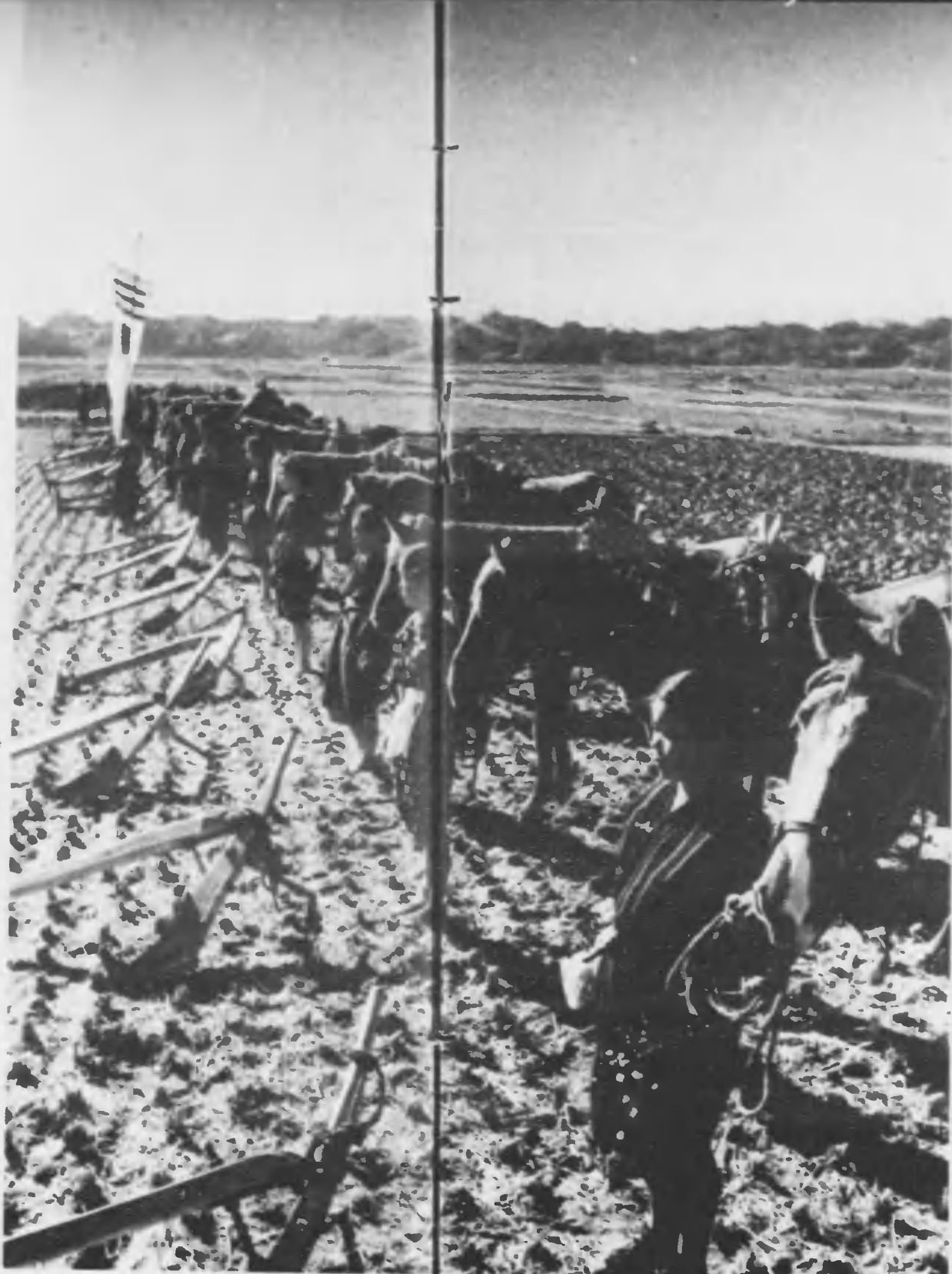
るものがなく、かへつて「女だ、だから」といふ不評さへ買つたといはれる。ところが時局の進展と共に、銃後を、即ちお國の土を守り抜かうといふ農村女性の熱意は、安閑として何時までも家の中に止つてゐることを許さなくなつた。自ら馬を馴らして田畑に立つ女性が年を逐ふて増加し、やがては全村あげての頼もしい風潮となつたのである。かくして女子畜耕班は、農村女性の盛り上がる銃後意識の中に自然に成長して來たのであるが、現在では住吉村婦人會と女子青年團の殆んど全員が参加し、農會長の下に強力な組織を持つて、共同耕作、出征家族及び遺族の手助けなどに男子に劣らぬ役割を果し、食糧増産の一翼をしっかりと擔つてゐる



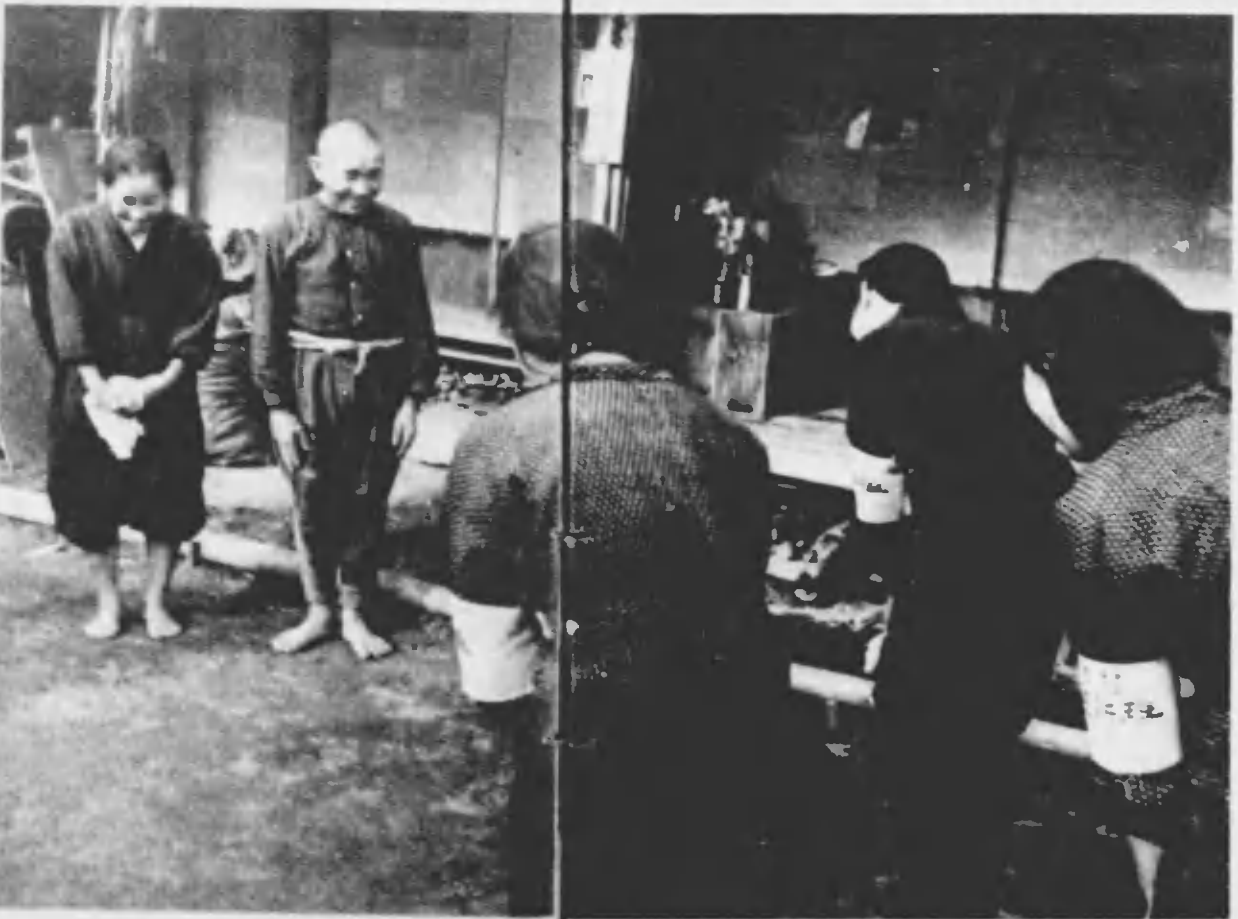
◎ 畜耕班長が各班長を召集してそれれ命令を傳達する。さあ、明日から一絲亂れぬ女子畜耕班の活動が始まるのだ

撮影 梅本忠男

◎ 戦國御旗隊を中心に、乙女たちは精一杯の敢闘を揮ふ。戦果に感へ最善をつくして銃後を守り通すべく



◎ 黒土にうららかな春の日が照り映えて、ほのかな湯気が立ち上る。あゝ、土の香、土氣した乙女の頬も嬉しい動勢に輝く



◎ 春の水はまだ冷いが、彼女たちの手先は心一杯今日一日の勞役を共に馳んでくれた愛馬をいたはる





# 次二第捷戦 日の賀祝

日二十月三

御後敵の下、威武世界に比類なき皇軍の前  
に敵なく、さきにシンガポールが陥落したの  
を機に行はれた戦捷第一次祝賀の後の戦果は  
また一とまは目覚ましいものがあつた  
ビルマでは、その首都ラングーンを衝き、  
さらに蘭印方面では、敵米英蘭露の聯合艦隊  
を撃滅するとともに、ジャバア島攻勢部隊は  
上陸後九日にして蘭印全軍を無条件降伏させ  
た



第二次祝賀に帝都は旗の波に埋つた  
喜びを鼓笛に托し、宮城前へ向ふ東京市女學  
生の鼓笛隊  
祝賀日の正午、三原縣桑名郡において、  
乗客がホーム上で、種國の英艦に鼓笛を掛け  
併せて皇軍の武運長久を祈願した  
(撮影 矢野榮一郎)

## 復讐の道

本敵からあなたは何を學んだて  
せうか  
1 わが古蹟或いは廟下となつた  
香港、マニラ、フィリピン、露  
英領ボルネオ、露領領印度洋  
島、ビルマの六地帯を全部合せ  
ると、面積においてわが日本領  
面積のどの位になりませうか  
ほつと同じ、約二倍、約三十倍、  
約五倍、約十倍、約二十倍、  
2 例戦以來三ヶ月間に獲た戦俘  
は、三萬位、五萬位、十  
萬位、十五萬位、二十萬位、  
三萬位、  
3 こんど滿洲國から振興務總理一  
行が來訪されましたね、さて、  
一行の目的は、  
4 わが陸軍部隊は三月八日未明  
○島東部のサラモア並びにラ  
エに敵前上陸を敢行、これに成  
功した  
5 戰事運轉ですから、常套では  
難さんに役をせまうと決めた  
方がよい、せうか？ (16頁)  
6 一島の原住民と日本の兵隊  
人が話してゐます 「君は  
なか？ パンチンがうまい？  
」では、もう「うまい？ パンチン  
」と手品、動物、演劇、  
7 フィリピン、マレー、東印度等  
南方のわが古蹟地帯からはゴム  
や錫や石油等の重要資源が確保  
されたさうですね、ところで、  
は同地帯に期待できませうか？  
8 例戦わづか三ヶ月にして敵艦の  
没つた船隻のうち左のものを入  
れて下さ、よく正確な数字を  
電沈艦 ○隻、航空母艦 ○隻  
巡洋艦 ○隻、潜水艦 ○隻  
軍艦 ○隻、飛行機 ○機  
9 國民府の十七年度の目標額  
は八十億、百二十億、百  
三十五億、百五十億、二百  
億、二百三十億、二百六十  
十億と云ふところから、  
島にありますが、大體どの邊に  
當りませう、  
フィリピン、ジャバア島  
寄る、セレスマス寄る、  
(18頁)



講田心齋の橋へ



大東亞戰事漫遊日誌



所	込	中	價	備
新	書	全	國	各
道	間	地	方	各
行	販	地	方	各
目	言	地	方	各
場	書	地	方	各
名	店	地	方	各
目	名	地	方	各
次	目	地	方	各
第	一	地	方	各
一	冊	地	方	各
五	冊	地	方	各
三	冊	地	方	各
二	冊	地	方	各
冊	五	地	方	各
冊	五	地	方	各

原本不明瞭



富貴週報  
昭和二十一年四月一日  
大蔵省印刷局印刷



時戰回二第

# 貯蓄債券 報國債券

金還債期滿の貯蓄債券興復  
れなにひ買おを券債時戰て  
すまへ買が金獎換乗ば

日十三 ← 日一月四・出売

大東亞

行銀業勸本日・省信遞・省藏大

内閣印刷局印刷發行

印刷製造-A4の紙に刷りたての紙